

Uらかわ地域定住自立圏形成協定合同調印式
連携して魅力ある地域づくりを

4月10日、市役所で「しらかわ地域定住自立圏形成協定合同調印式」が開催されました。この協定は昨年、中心市宣言を行った本市と生活圏や経済圏が同じ西郷村・泉崎村・中島村・矢吹町・棚倉町・矢祭町・埴町・鮫川村の8町村が、将来にわたって安心して暮らせる魅力ある地域をつくるために、役割を分担しながら連携・協力していくことを定めたものです。

今後は、具体的な取り組み内容を盛り込んだ「定住自立圏共生ビジョン」の策定に取り組みます。



▲協定書を掲げる白河市長と圏域の町村長

6次化新商品試食・販売会
白河の農産物を活用した新商品をPR

3月26日、日本橋ふくしま館MIDETTE（東京都中央区）で、「うまいもの」販売会を開催し、市内の事業者が白河の誇る農産物を活用して開発した、新商品5品をお披露目しました。

当日は事業者などが、鈴木市長とともに、新商品の魅力を来場者にアピールしたほか、市公認キャラクターのしらかわんもお手伝いし、試食・販売会を盛り上げました。会場では、多くの方が商品を買って求めています。



▲来場者に新商品の魅力を説明する様子

みさか小児童クラブ「スマイル」開所式
新施設の開所を祝う

4月1日、みさか小児童クラブ「スマイル」の開所式が行われ、新しい施設の完成を祝いました。子ども・子育て支援新制度により、放課後児童クラブの対象が全小学生に拡大されたため、新たなクラブ室を開所したものです。式では、鈴木市長が「社会をあげて子育てを応援したい」とあいさつしました。また、既存の施設では手詰りとなったみさか小のほか、5つの児童クラブでも、小学校内への移設や施設を改修・増設するなど、希望者全員の受け入れ態勢を整えました。



▲開所を喜ぶ児童たち

まちの話題やイベント
を皆さんに
まち
Topics



▲満開の桜の中で披露された川越藩火縄銃鉄砲隊による演武

白河小峰城さくらまつり
震災後初めて三重櫓を一般公開

4月18日・19日の2日間、城山公園（郭内）で「白河小峰城さくらまつり」が開催され、県内外から4万3千人が訪れました。18日にはしらかわ桜ウォークが行われ、約400人の参加者が晴天の中、春の風情を楽しみました。また、ステージでは、東北6県を代表するご当地キャラ「東北たまSIX」による、「ご当地キャラこども夢フェスタ2015プレイベント」などが行われました。

19日には小峰城復興式が行われ、清水門から三重櫓までの修復完了を祝いました。来場者は、震災後4年ぶりに一般公開された三重櫓を一目見ようと、長蛇の列をつくりました。さらに、川越藩火縄銃鉄砲隊甲冑武者・姫行列、火縄銃演武などが披露され、会場を沸かせました。



▲復興式でのテープカットの様子

DCオープニングイベント
観光客を盛大に歓迎

4月4日、JR新白河駅構内で、ふくしまデスティネーションキャンペーン（DC）のオープニングセレモニーが行われました。

当日は、イベント列車が運行され、大信こだま太鼓が勇壮な演奏で到着を歓迎し、ダルライザーをはじめ県南地域のご当地キャラが乗客を出迎えました。また、駅東口では神輿が威勢良く練り歩き、「白河提灯まつり」の熱気が再現されたほか、駅構内ではダルライザーショーなどが行われ、観光客を魅了していました。



▲鏡開きでDC開幕を祝う関係者